

跡見学園女子大学 学報



須賀川牡丹園での植樹式の様子
左から大寺市長（福島県須賀川市）、柳沼理事長（須賀川牡丹園保勝会）、小仲学長

□ 頃より本学の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨年、跡見学園は創立150周年を、跡見学園女子大学は創立60周年を迎えました。それを祝してホームカミングデー、記念シンポジウム、百人一首をテーマとする公開講座などを開催しましたが、多くの卒業生、関係者の皆様にご参加いただき、感謝申し上げます。今号では150周年記念行事についてご報告します。また、紫祭活動、海外研修をはじめ、学生の皆さんが活躍の様子をご紹介します。紙面からではありませんが、跡見学園女子大学の〈いま〉を体感していただければ幸いです。

共学志向が高まる中、女子大学は現在、困難な時代に遭遇しています。本学はこれからも女子教育機関として新たな歴史を紡いでいきたいと考えています。そのためには150年の歴史を重んじる一方、時代と社会の変化に応じて、改革を断行していく必要があります。引き続き、保護者ならびに関係者の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

記事内容

○跡見学園150周年企画のご報告	2～4
○第58回紫祭活動報告	5
○学生会情報	6
○2025(令和7)年度課外活動奨励賞	6
○就職課Information	7
○国際交流活動の紹介	8～9
○地域交流活動の紹介	10
○地域交流活動の紹介	11
○学生課イベント実施報告	11
○入学前オリエンテーション実施報告	11
○2025(令和7)年度学内講演会開催報告	12
○2025(令和7)年度「学生生活に関する調査」実施報告	12
○2025(令和7)年度各種研究助成報告	12
○情報メディアセンターからのお知らせ	13
○「桜まつり2026」開催	13
○桜鑑賞のための大学構内一般開放について	13
○2026(令和8)年度花蹊記念資料館展示スケジュール	14
○春の行事予定	14
○履修申請期間	14
○2026(令和8)年度春学期オリエンテーションおよび学生定期健康診断予定	15
○2026(令和8)年度オープンキャンパスのご案内	16
○編集後記	16
○公式SNS紹介	16

跡見学園150周年企画のご報告

2025（令和7）年、学校法人跡見学園は創立150周年を迎えました。これを機に、跡見学園では150周年を記念した企画が多く開催されました。

過去の学報でも150周年記念について取り上げてきましたが、2025（令和7）年度を締めくくるにあたり、これまで開催した企画の中から一部をご紹介します。

創立150周年記念式典・祝賀会が盛大に執り行われました

11月29日にグランドプリンスホテル新高輪にて創立150周年記念式典・祝賀会が執り行われました。

当日は約500名の方にご臨席いただき、盛大な式となりました。

記念式典では、跡見裕理事長の挨拶をはじめとし、来賓祝辞や祝電披露、学校法人跡見学園理事であり女子大学卒業生の中林美恵子氏より記念講演として「時代が変わる今だからこそ」をご講演いただきました。

祝賀会では華やかな料理とともに、和やかな懇談のひとつきをお過ごしいただきました。大学からは小仲信孝学長と学生代表による新種の桜の名称発表や次期学長である森まり子教授の紹介、池上高志氏による情報科学芸術センター設立発表があり、大変豊かな時間となりました。

本式典・祝賀会では跡見学園中学校高等学校の皆さんにもご協力いただきました。校歌斉唱の際には合唱部の皆さんに、そして、器楽部リコーダー一班の皆さんには祝賀会でリコーダーを演奏していただきました。素敵な音色に大きな拍手が送られました。

本式典・祝賀会はもちろん、150周年という節目であった今年度は、多くの皆様より、心温まるご祝辞を頂戴しました。日頃より後援会・校友会をはじめ、様々な方々からのご支援のおかげで学園創立150周年という大きな節目を迎えることができました。心より感謝申し上げます。



キャンパスに自生した淡紅色の新種の桜

創立150周年を記念し「アトミザクラ（跡見桜）」と命名

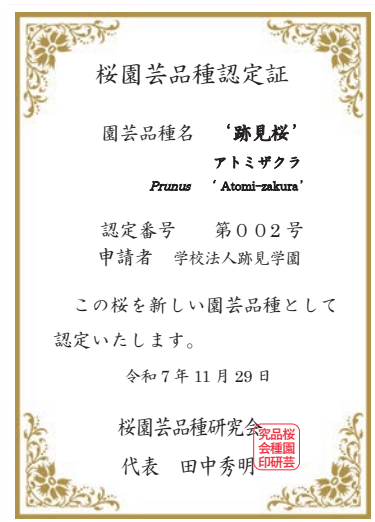
本学の新座キャンパスに新種の桜が発見されたことはご存知でしょうか？

学園創立150周年を迎えたことを記念し、この桜の名称を募集していましたが、ついに名称が決定し、創立150周年記念祝賀会にて名称が発表されました。応募は学内外から150件を超え、学内選考を経て「アトミザクラ（跡見桜）」と命名されました。

新種の桜の存在が分かったのは、1993（平成5）年から10年間をかけて実施した、構内の桜の同定調査でした。日本櫻学会評議員であり、キャンパスの桜の保全に長年尽力されている山崎博子本学名誉教授は、この桜について「通常の苗木から移植された桜とは違って、新座キャンパスの地面から芽吹いた桜であり、正真正銘の跡見生まれ跡見育ちの、実生（みしょう＝種から生まれた）の桜である」と説かれました。そこで、2024（令和6）年、専門家に調査を依頼したところ、「この桜は染井吉野より数日早く、若葉の展開前に一重咲大輪、淡紅色の花を咲かせるため、鑑賞性が高い」との評価を得ました。

12月3日には新座キャンパスで植樹式が行われました。当日は来賓として山崎博子名誉教授、桜園芸品種認定調査を行っていただいた田中秀明樹木医をお招きし、認定賞授与や苗木への土かけを行いました。今年も桜鑑賞の一般開放を行いますので、ぜひ「アトミザクラ（跡見桜）」をご鑑賞ください。

今後はこの苗木を、跡見ゆかりの場所に植樹する計画を進めていきます。全国各地に暮らす卒業生が、それぞれの身近な場所で、「アトミザクラ（跡見桜）」に出会い、母校に想いを馳せてもらえることを願っています。



桜園芸品種認定証

跡見学園150周年企画のご報告

学園創立150周年記念シンポジウム

「文化遺産がつなく過去と未来 - 跡見女学校 明治・大正・昭和の暮らし」開催



9月28日跡見学園女子大学文京キャンパスにて、地域交流センター主催による跡見学園創立150周年記念シンポジウム『文化遺産がつなく過去と未来 - 跡見女学校 明治・大正・昭和の暮らし』を開催しました。当日は約180名の方にご参加いただきました。また、9月24日(水)～9月30日(火)の期間、文京区柳町遺跡より発掘された遺物のほか、シンポジウムに関連する展示を開催し、当日を含め延べ298名の方が来場しました。

本シンポジウムは、2020(令和2)年～2021(令和3)年にかけて行われた文京区立柳町小学校の建て替えに伴う発掘調査で、跡見女学校の旧柳町校舎(明治20(1887)年～昭和8(1933)年)に関連する遺構や遺物が多数発見されたことを受け、その成果を広く共有し、学園の歴史を「文化遺産」として未来へ継承する方途を探ることを目的として企画されました。

基調講演では、京都芸術大学の石神裕之教授より「遺跡が語る地域の記憶」を題目に、考古学の視点から遺跡の本質的価値および現代的意義についてお話いただきました。

続いて、①本学観光コミュニティ学部小関孝子准教授および花隈記念資料館学芸員若林範子氏による、明治期・大正期における跡見女学校に関する文献に焦点を当てた報告、②テイケイトレード株式会社の小野麻人氏と渡辺恵末氏による、柳町遺跡の発掘成果と考古学的分析手法に関する報告、③本学大学院人文科学研究科院生の黒木真悠氏による、学生団体「跡見『学芸員』in菊坂」が実施している、旧伊勢屋質店の「質物台帳」読解プロジェクトを中心に活動報告が行われました。

今回、一つのテーマに対し、考古学、文献史学、民俗学的なアプローチ(学生研究)を組み合わせることで、過去の事象を多角的かつリアルに復元する有効性を示すことができました。特に、発掘調査で得られた物理的データと、日記や機関誌といった個人的・組織的記録を突き合わせることで、単独の研究では到達し得ない豊かな歴史像が描き出されたのではないのでしょうか。閉会挨拶で土居洋平 地域交流センター長が、こうしたシンポジウムを定期的で開催し、研究成果を伝え、議論する行為そのものが「文化遺産を未来に繋ぐ実践」であると締めくくり、会は盛況のうちに閉会しました。学園、研究者、地域住民、そして学生が一体となって歴史を掘り起こし、未来へと繋いでいく試みは、今後も継続されるべき重要な活動として位置付けて取り組んでまいります。

シンポジウムの様子



(写真) SHIMADA, Yusuke / apgm*

ホームカミングデー開催

卒業生や教職員OBなどを学園に招いて歓待するイベント「ホームカミングデー」が5月10日に開催されました。1,100名を超える卒業生が来場し、懐かしいご友人の皆さんとひとときを過ごしました。全体会の後には「泉会(中高)」「桃李の会(短大)」「一紫会(大学)」の3つの校友会に分かれ、旧友との時間を楽しみました。

また、当イベントでは大学校友会の一紫会によって「第43回生のための卒業記念セレモニー」が企画されました。跡見学園女子大学第43回生916名は、東日本大震災によって、式典を迎えることができませんでした。それから14年を経て、「第43回生卒業式」が挙行され、33名が参列しました。跡見伝統の袴を身にまとった卒業生には温かい拍手が送られました。



跡見学園150周年企画のご報告

跡見学園創立150周年記念 収蔵資料総合目録特別号

『跡見花蹊一画家・書家・教育者』刊行のお知らせ

本年、跡見学園は創立150周年、女子大学開学60周年、花蹊記念資料館開館30周年という節目の年を迎えました。これを記念し、花蹊記念資料館では、創立者・跡見花蹊の魅力あらためて感じていただける収蔵資料総合目録特別号『跡見花蹊一画家・書家・教育者』を刊行いたしました。

画家としての繊細なまなざし、書家としての確かな筆致、そして教育者として未来に託した想い。花蹊が生涯を通じて遺した作品や足跡を、多角的な視点から紹介する、これまでにない内容の一冊です。

本書には、横田恭三名誉教授、村田宏名誉教授、植田恭代教授、矢島新教授、栗田秀法教授、香取潤哉准教授による貴重な論考を収録し、さらに岩田秀行名誉教授、泉雅博名誉教授からのご協力を得て、花蹊を初めて知る方にも親しみやすく読みやすい一冊でありながら、資料性の高い内容となっています。

巻末には、跡見花蹊の実寸大の印影一覧を収録し、作品の魅力をより深く味わえる多数のカラー図版も掲載しています。花蹊の世界を手元でじっくり楽しめる一冊として、ぜひお手に取ってご覧ください。

花蹊記念資料館にて1,000円で販売、通信販売でのご購入も可能です。詳しくは右記ホームページのQRコードよりご確認ください。



花蹊記念資料館
ホームページはこちら

跡見学園創立150周年記念「百人一首展」

跡見学園女子大学所蔵の約3千点の「百人一首コレクション」の一部を、春会期・秋会期の2回に分けて公開しました。こういった展示は近々でも1990(平成2)年、2006(平成18)年の2度しかなく、約19年ぶりに本学の貴重資料が特別に公開される機会となりました。

春会期は6月14日から6月28日まで、文京キャンパス2号館1階エントランスホールにて、百人一首をテーマとした春学期の公開講座と同時期に開催しました。秋会期は10月4日から10月22日まで、新座キャンパス図書館展示室にて、やはり百人一首をテーマとした秋学期の公開講座と同時期に開催するとともに、学園祭(紫祭)当日2日間(10月25日・10月26日)にも展示を行いました。

展示品は、創立者・跡見花蹊直筆の『小倉百人一首かるた』を始め、春会期で21点、秋会期で23点ほどになりました。内容は小倉系・異種系を含め、体裁も写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六等多岐に渡り、見学された方々からは「貴重なコレクションを見られてよかった」と高評価をいただきました。



春会期の展示より
「小倉百人一首かるた」



秋会期の展示品より
「百人一首之内」

跡見学園創立150周年記念 百人一首 公開講座を行いました

今年度開催された公開講座をご紹介します。

<春学期：文京キャンパス>

「『小倉百人一首』の歌の世界」

定員：200名 申込者数：167名 受講料：無料
講座責任講師：文学部人文学科 加美甲多准教授

第1回：2025(令和7)年6月14日(土) 10:00～11:30
場 所：対面 Atomi Blossom Hall
テーマ：百人一首とのキャッチボール
講 師：歌人・竹柏会歌詠「心の花」
選歌委員・本学兼任講師 佐佐木頼綱

第2回：2025(令和7)年6月21日(土) 10:00～11:30
場 所：対面 Atomi Blossom Hall
テーマ：百人一首の文学史
講 師：本学名誉教授 神野藤昭夫

第3回：2025(令和7)年6月28日(土) 10:00～11:30
場 所：対面 Atomi Blossom Hall
テーマ：『小倉百人一首』に選ばれた女性歌人とその歌
講 師：東京都芸芸大学名誉教授・本学兼任講師 石井正己

<秋季：新座キャンパス>

「文化遺産としての百人一首」

定員：200名 申込者数：160名 受講料：無料
講座責任講師：文学部人文学科 加美甲多准教授

第1回：2025(令和7)年10月4日(土) 10:00～11:30
場 所：対面 花蹊メモリアルホール
テーマ：跡見の百人一首コレクションとその魅力
講 師：本学名誉教授 神野藤昭夫

第2回：2025(令和7)年10月11日(土) 10:00～11:30
場 所：対面 花蹊メモリアルホール
テーマ：教養を前提とする美術について考える
一人一首を中心に
講 師：本学文学部人文学科教授 矢島新

第3回：2025(令和7)年10月18日(土) 10:00～11:30
場 所：対面 花蹊メモリアルホール
テーマ：和歌史のエポックメイキングとしての『小倉百人一首』歌
講 師：本学兼任講師 岩田久美加

たくさんのご参加ありがとうございました。

ゆかりさい 第58回 紫祭活動報告

第58回 紫祭実行委員会 委員長 牧野 友香さん

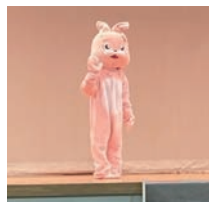


ごきげんよう。紫祭実行委員会です。2025（令和7）年10月25日・26日に第58回紫祭を開催しました。あいにくの雨天でしたが、お足元の悪い中ご来場いただき、誠にありがとうございました。

私たちは2024（令和6）年11月より、総勢100名近くの部員とともに紫祭の準備を進めてきました。今年度は跡見学園女子大学設立60周年、跡見学園創立150周年という節目の年でもあり、「特別な紫祭をつくりたい」という思いのもと、幹部を中心に何度も話し合いを重ねました。日々の準備では不安や悩みもありましたが、一つずつ課題を乗り越えながら紫祭を形にしていく過程は、紫祭実行委員にとって学びと成長に繋がったと思っています。

当日は、跡見学園女子大学設立60周年記念ブースの設置に加え、1日目には初の試みとなるミニ運動会「紫戦」を実施し、多くの皆様から温かいお言葉を頂戴しました。また、2日目には幅広くご活躍されている俳優をお招きし、トークショーを開催しました。

紫祭を創り上げる過程では数多くの課題に直面しましたが、その度に紫祭実行委員同士で支え合い、学生会本部、参加団体、当日お手伝いをしてくださった他大学の皆様にご協力いただき、無事に紫祭を終えるこ



紫祭公式マスコットキャラクター眉毛丸

とができました。

今年のテーマは「桜霞～光り輝く時を～」でした。満開の桜が遠くから霞のように見える情景を示す「桜霞」のように、跡見学園女子大学の学生一人ひとりが美しく輝ける紫祭にしたいという思いを込めています。テーマの通り、参加された皆様が輝ける場となっていれば、紫祭実行委員一同嬉しく思います。

最後になりますが、ご来場いただいた皆様、そして多方面にわたりご支援・ご協力を賜りました学長、副学長をはじめ、教職員の皆様に心より感謝申し上げます。皆様のお力添えにより、今年も紫祭を成功のうちに終えることができました。来年度以降の紫祭にも、ぜひ温かいご支援を賜れますと幸いです。

今後とも変わらぬご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



CLUB Now

書道部

書道部 部長 関口 莉乃さん



ごきげんよう。書道部です！

私たちは現在、8名で和やかな雰囲気の中で、日々活動しています。主に、年間を通して開催される展覧会に向けた活動をしています。ある人は色々な書体に挑戦してみたり、またある人は一つの書体を極めたり、自由にのびのびと書いています。

年間行事の中で特に大きなイベントは、夏合宿です。自然に囲まれながら過ごす数日間は、部員全員が同じ空間でひたむきに「書」と向き合う、まさに「青春」そのものと言える時間です。しかし、それだけではありません。寝食を共にする中で、部員の新たな一面を知り、絆を深める機会になります。

紫祭をはじめとする書道展では、顧問の香取先生や様々な方たちのご助力のもと、私たち学生が主体となり、会場決めや作品配置などを行っています。少人数ということもあり運営は大変ですが、それ以上に「私たちが成し遂げた」という達成感と、周囲の人たちへの感謝の気持ちを実感できる大切な瞬間です。

その他にも、9大学で構成される東京学生書道連盟に所属し、毎年6月に「書連展」を開催しています。そこでは、同年代の多様な書を観て、感じることもとても貴重な機会です。ぜひ私たちと青春を共にしてみませんか？

Instagram : atomi_shodo

X : @atomishodo



学生会情報

春光うらかな季節となり、キャンパスにも新しい息吹が感じられるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

学生会本部では、2025（令和7）年9月8日に「学長との懇話会」を実施しました。学長やクラブ顧問の先生方にお越しいただき、事前に学生から寄せられた大学に関する質問や要望に直接お答えいただきました。普段伺うことのできない大学運営の考えを知る良い機会となりました。

また、2025（令和7）年10月26日・27日に紫祭（大学祭）が開催され、学生会本部では牛タンつくね串やさつまいもチップスなどを販売しました。雨天にもかかわらず連日多くの方にご来場いただき、おかげさまで完売しました。初の試みで紫戦（運動会）を実施し、多くの



学生会本部 副会長 菅原 のぞみさん



方にご参加いただき大いに盛り上がりました。例年以上に活気のある紫祭（大学祭）となりました。お越しいただいた皆様、誠にありがとうございました。

そして、2025（令和7）年11月27日には、中国料理テーブルマナー講習会をザ・プリンスパークタワー東京「陽明殿」にて開催しました。美味しい食事をいただきながら、実践的なマナーを学ぶ有意義な時間となりました。

今年度も学生会本部としての活動を無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。3年生の先輩方の引退に伴い、学生会本部は新体制へと移りますが、これまでの取り組みを大切にしながら、より良い学生生活の実現に向けて、より一層尽力してまいります。

今後も学生会本部の活動を温かく見守っていただけますと幸いです。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



2025（令和7）年度課外活動奨励賞

跡見学園女子大学では、課外活動で他の学生の範となる活動を行い、優秀な成果をあげた1団体に、日頃の努力を称え「課外活動奨励賞」を授与しています。今年度は、熱心に日頃の練習を重ね、主体的な練習意欲と継続的な努力により、今後の活躍に期待できることを理由に「軟式野球愛好会」が選出されました。2025（令和7）年10月26日（日）紫祭（大学祭）後夜祭にて表彰式が行われ、学生サポートセンター長より賞状と副賞が贈られました。

①課外活動奨励賞を受賞した上での感想

この度課外活動奨励賞を受賞できましたこと、大変光栄に思います。

軟式野球愛好会は設立して2年経過し、日々の練習に励むとともに関東大学女子軟式野球連盟に登録し、試合にも積極的に出場するなど、向上心を持って活動しています。

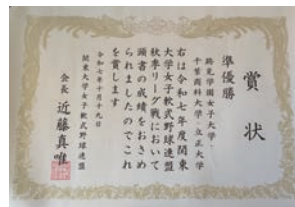
大会では他大学と合同チームを組み、試合に出場していますが、チーム・個人として日頃の練習の成果を発揮でき、その努力が賞として形に残ることを嬉しく思います。日頃から活動を支えてくださっている方、大学関係者の皆様に部員一同心より感謝申し上げます。

②今後の軟式野球愛好会としての目標

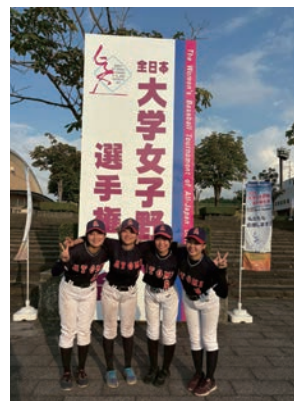
現在の軟式野球愛好会は、多くが4年生で部員が少ないため今後の活動継続が危ぶまれる状態ですが、残り少ない試合や練習に一生懸命取り組みたいと思います。部員を集め単独チームとして試合出場を目指し、女子野球の楽しさを広めていきたいと思います。

③軟式野球愛好会の大会成績（日付・大会名・成績）

- ・2025年6月28日
2025年度関東大学女子軟式野球連盟春季リーグ 優勝
最優秀選手・最優秀投手（個人賞 堀内咲希）
- ・2025年10月19日
2025年度関東大学女子軟式野球連盟秋季リーグ 準優勝
首位打者・優秀選手（個人賞 堀内咲希）



軟式野球愛好会
会長 堀内 咲希さん



就職課 Information ～就職部 就職課～

就職部では、学生が将来の職業や働き方の選択肢を具体的に思い描けるよう、さまざまなキャリア形成プログラムを実施しています。ここでは、今夏から今秋にかけて実施したプログラムをご紹介します。

1～3年生対象「企業研究実践・社会人インタビュー」

本プログラムは8・9月に全5回実施しました。学生がグループに分かれて企業研究を行い、質問項目を準備した上で協力企業を訪問し、社員の方々に直接インタビューを行うものです。今年度は1～3年生の学生14名が参加し、株式会社イノメディックス、株式会社東証コンピュータシステム、株式会社ワールドの3社にご協力いただきました。本学OGを含む社員の方々から、仕事内容や働き方についてお話を伺いました。

最終回には、参加者全員が企業の方の前で、インタビューを通して得た学びを成果として発表しました。参加学生からは、「挑戦する意欲が大切だと知った」「自分の目で確かめることが重要だと感じた」などの声が寄せられました。



企業訪問の様子

1～3年生対象「ATOMIインターンシップ／就業体験_2025」

夏季に実施する「ATOMIインターンシップ／就業体験」は、就業体験や社員との交流、現場見学を通して、業界・企業への理解を広げることを目的とした長期プログラムです。事前研修から成果報告会まで約4カ月間にわたり取り組むこの企画は、今年で28年目を迎えました。

今年度は48の企業・自治体に協力いただき、72名の学生が参加しました。事前研修では、業界・企業研究に加え、「インターンシップで何を学びたいか」という目標設定にも取り組み、学生は自身の参加目的を明確にして実習に臨みました。実習終了後には「体験して終わりではなく、事前・事後研修を通じて深く考える機会があったことが良かった」との振り返りもあり、キャリア形成に向けた手応えを得た様子がうかがえました。

成果報告会後の懇親会では、学生が企業ブースを積極的に訪れ、企業担当者に質問をする姿が見られ、実習先以外の業界にも知見を広げる場となりました。



事前研修（ビジネスマナー）の様子

3年生対象「PBL（課題解決型プログラム）」

課題解決力を育成する取り組みとして9年目を迎えた本プログラムは、8～9月にかけて実施しました。今年度はブランド業界の株式会社ベストホスピタリティネットワークにご協力いただき、「【3Days Wedding】晩婚カップルに贈る、上質な3日間をプロデュース」をテーマに、学生たちが約1か月間かけて企画立案に挑みました。

6つの学生チームは、結婚式を挙げるターゲット像（ペルソナ）の設定から議論を開始。市場ニーズや費用対効果を踏まえながら提案内容を練り上げ、最終日には同社でのプレゼンテーションを実施しました。最優秀賞には、ホテルの湾岸立地を活かし“船舶を使った演出”を盛り込んだCチームの企画が選ばれました。

参加学生からは「グループだからこそ、自分一人では生まれない発想があった」「責任を持って行動する姿勢が求められ、成長を実感した」といった声が寄せられ、チームで課題に取り組む意義を体感する機会となりました。



企業・大学関係と学生との集合写真

3年生対象「ATOMI業界研究エキスポ2025」

就職課主催の本エキスポは、多様な職種・業界について理解を深め、自身の適性や就職活動の軸を見出すことを目的としたプログラムです。

今年度は、①職種研究（OGによる職種別パネルディスカッション）、②創る仕事（製造・建設・IT）、③届ける仕事（卸売・小売）、④豊かにする仕事（サービス）、⑤支える仕事（金融・公務等）の5つのテーマで構成し、流通の仕組みや業界構造を学べる内容としました。

初日の「職種研究」では、企業で30年以上活躍されている本学OGを迎えてパネルディスカッションを開催。一つの企業で長く働くことで得られる経験やキャリアの魅力が語られ、学生は真剣に耳を傾けていました。

また、若手OGの協力による「OGブース」では、働き方や就職活動の経験談、授業の履修についてなど、OGならではの視点を交えたアドバイスが交わされ、和やかな雰囲気の中で活発な交流が生まれました。学生からは、「身近なロールモデルと出会い、視野が広がった」との声もあり、将来のキャリアを考える貴重な機会となりました。



OGによる職種別パネルディスカッションの様子

国際交流活動の紹介

2025(令和7)年度 夏期海外研修実施報告

2025(令和7)年8～9月に、フランス、台湾、韓国で夏期海外研修を実施しました。計12名の学生が2～4週間の充実した時間を過ごしました。語学力はもちろん、海外の文化をしっかりと吸収して成長することができました。

フランス 西部カトリック大学

8月3日(日)～9月1日(月)

参加人数：7名

引率：中山 慎太郎准教授(文・人文)



台湾 国立台湾師範大学

8月10日(日)～30日(土)

参加人数：1名



韓国 東義大学校

8月11日(月)～25日(月)

参加人数：4名



2025(令和7)年度 夏期海外研修成果報告会

・台湾、韓国 2025(令和7)年10月8日



・フランス 2025(令和7)年11月11日、14日



アメリカ ローワーコロンビアカレッジ関係者との交流会



2025(令和7)年11月10日(月)ローワーコロンビアカレッジ前学長クリス・ベイリー氏とプログラムスペシャリストのピーダーセン恵子氏との交流会を文京キャンパスで行いました。過去に研修に参加した学生との再会を喜び、話は尽きることなく、昼休み時間に収まりきれない盛り上がりを見せていました。春期研修に応募した学生も参加し多くのメッセージを受け取り、モチベーションが大いに高まった様子でした。ローワーコロンビアカレッジとの強い絆がこれからも続き、更に深められるよう努めて参ります。



語学サロンのご案内(英会話・韓国語)

英会話サロン

- ・ネイティブの講師と自由に会話
- ・両キャンパスにて実施
- ・出入り自由、ランチOK!
- ・マンツーマンのオンラインレッスンも実施!



韓国語サロン

- ・日韓バイリンガルの講師と楽しく会話
- ・各キャンパス交互に実施
- ・韓服体験や韓国のゲーム体験もできます
- ・おやつ、お昼を食べながら参加OK!



中長期留学を振り返って

2025（令和7）年度に1年間の留学をした学生が無事帰国しました。韓国・アメリカの2か国に各1名が留学しました。中長期留学を振り返った感想をご紹介します。

文学部 コミュニケーション文化学科 4年 角田 千波さん



私は1年間休学し、韓国・釜山にある東義大学校に留学をしました。中長期留学を決めた理由は、その前に参加した夏期海外研修の経験がきっかけです。2週間という限られた時間の中で沢山のことを吸収し、もっと長期間滞在し学んでみたいという気持ちが大きくなり、より一層韓国語の勉強に励みたいという思いが芽生えたからです。留学前は、日々の勉強はもちろん、学内の韓国語サロンやオンライン交流会などにも積極的に参加し、語学力を高めました。

留学を通して、何事にも挑戦するチャレンジ精神、積極性と行動力、そして自信が身についたと実感しています。机に向かって勉強することだけではなく積極的に外に出て行動したおかげで、語学力はもちろん、たくさんのお話を吸収し自分自身も成長することができました。

また、留学生活で多くの方々との交流を通して、韓国だけではなく、他の国の文化や価値観も知ることができ、異文化理解を深めることができたと感じています。固定概念や偏見、狭い視野にとらわれず、色々な角度から柔軟に物事を見ることの大切さを学ぶことができました。

留学経験は、私の人生の中でかけがえの無い時間となり大きな財産になりました。私の留学生活を支えてくださったすべての方々に改めて感謝し、留学中に会った素敵なご縁の数々はこれからも大切にしていきたいと思っています。そして、語学力はもちろん、留学経験から得た広い視野やグローバルな視点を活かしたり伸ばしたりして、今後はグローバルな人材として活躍していきたいです。

マネジメント学部 マネジメント学科 4年 増子 莉奈さん

私は大学4年生の秋学期から、アメリカ・ワシントン州にあるLower Columbia Collegeで1年間の長期留学を経験しました。留学前の私は英語を話すことが得意ではなく、人間関係や寮生活に不安を感じていました。特に、多くの人が集まるパーティーなどの交流の場には消極的で、現地の生活に馴染めるのが心配でした。

留学生活が始まり、最初に大きな壁となったのは授業でした。英語が十分に聞き取れず、内容を理解できないことも多く、戸惑う日々が続きました。しかし、先生方は優しく支えてくださり、わかりやすい表現で丁寧に説明してくださいました。留学初期に受講していた英語を第二言語として学ぶクラスでは、国籍や年代の異なる学生とともに学び、お互いの文化や考え方に触れながら基礎から英語を学ぶことができました。その経験が授業への不安を和らげる大きな支えとなりました。

また、寮生活を通じて、日本語が通じない環境でも生活する力が身につきました。料理や家事、友人との外出などを経験する中で自立心が育ち、異なる文化や価値観に触れることで視野や考え方の幅も大きく広がったと感じています。日本に帰国した現在も交流が続く友人ができたことも、この留学の大きな成果の一つです。この経験は、不安を乗り越えて挑戦する大切さを教えてくれました。



2025（令和7）年度、春期海外研修実施中！

- ・アメリカ ローワーコロンビアカレッジ…………… 8名
- ・台湾 国立台湾師範大学…………… 1名

※ 2026（令和8）年度夏期海外研修については、4月頃ポータルにてご案内します。



Teams「国際交流Information」 国際交流に関する情報を随時発信！ チームコード：xbmva5o

海外研修や英会話サロン、韓国語サロンなどに興味がある方、最新情報をリアルタイムで知りたい方はぜひご覧ください。（学生のみ）



地域交流活動の紹介

2025（令和7）年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」開催

2025（令和7）年度の文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」が、2025（令和7）年11月2日（日）（13時00分～16時00分）、跡見学園女子大学プロッサムホールで開催されました。

今年度で14回目となる本コンテストは、文の京ゆかりの文化人顕彰事業のひとつで、文京区と連携をして朗読者に発表の場を提供するとともに、区民の文化活動の一層の促進や、特に青少年部門においては朗読への関心を醸成することを目的として、文京区が主催し、本学が主管して2012（平成24）年度から開催されています。

開会にあたり、成澤廣修文京区長よりご挨拶をいただきました。

今年は文京区と熊本県・熊本市・新宿区の「文化と歴史を縁とする包括連携」締結10周年を記念し、熊本県・熊本市・新宿区にゆかりのある作家の小説6作品を課題作としました。具体的には、「作家になった教師たち」というテーマをきっかけ、小泉八雲・徳富蘆花・夏目漱石この3名の作家の6作品の中から朗読が行われました。

応募総数298名（青少年の部133名、一般の部165名）のうち、NHK財団ことばコミュニケーションセンターの事前録音審査で選ばれた、青少年の部7名、一般の部8名が本選に出場しました。※青少年の部については、選出者7名の内1名は当日欠席となりました。



「青少年の部」出場者と学長、審査員

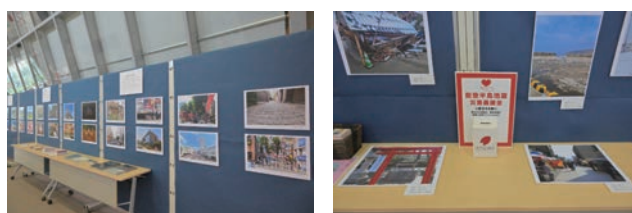


「一般の部」出場者と学長、審査員

高橋淳之氏（NHK財団ことばコミュニケーションセンター 専門委員）、吉田太一氏（文京区教育委員会教育指導課 指導主事）、渡部英美氏（元NHKアナウンサー、跡見学園女子大学文学部教授）の3氏による厳正な審査の結果、最優秀賞2名（青少年の部、一般の部各1名）と優秀賞4名（青少年の部、一般の部各2名）の受賞が決定しました。

審査中には、ステージで、熊本県・熊本市・新宿区・本学の紹介動画を上映し、特別展示では、プロッサムホール前にて、熊本県・熊本市・新宿区・文京区の文化と歴史を縁とする包括連携関連展示を行いました。

展示にあたっての写真は、文京ふるさと歴史館・熊本県東京事務所・熊本市政策局東京事務所・新宿区文化観光課より提供を受けました。



プロッサムホール前展示の様子

跡見「学芸員」 in 菊坂の活動紹介

菊坂跡見塾「一葉忌」特別見学ツアーの開催と文化財建築の勉強会を実施

「学芸員 in 菊坂」は、本学が2015（平成27）年に取得した文京区本郷の文化財建築・旧伊勢屋質店（菊坂跡見塾）を舞台に、学生が研究・展示・見学企画などを通してその文化的価値を社会へ発信する取り組みです。学生や教員の入れ替わりもある中、今年度はまず体制の立て直しから着手し、徐々に活動を再始動させてきました。

例年実施している質屋台帳の翻刻作業や民具調査といった継続研究に加え、9月には地域交流センター主催の学園150周年記念シンポジウムで展示準備を手伝い、活動紹介も行いました。また、11月23日の一葉忌には館内見学ツアーを企画し、100名を超える参加者を迎えました。ツアーでは学生が建物の歴史的特徴を各所で解説したほか、質屋体験ごっこや樋口一葉との関係性の紹介などの企画を通じて来館者に旧伊勢屋質店の魅力を伝えました。学生にとっても、文化財としての同建物を深く理解する大きなきっかけとなりました。

さらに12月には勉強会を開催いたしました。開催にあたっては、建築の専門家を招くなど学生自体が文化財建築に親しむ機会を設けました。また、企画展では、パネル展示や民具調査体験など、旧伊勢屋質店の価値と保存の意義を改めて発信する内容となりました。

学芸員 in 菊坂は、学生が地域と文化財をつなぐ実践の場として、これからも活動を広げていきます。



11月23日実施 「旧伊勢屋質店ガイド」 イベントの様子

学生課イベント実施報告



・七夕企画

2025(令和7)年7月、学生に自由に願い事を書けるように、新座キャンパスグリーンホールの入り口にキャンパス内に自生していた笹の葉と短冊を設置しました。短冊には、個人的な願い事から学生食堂へのメニューのリクエストまで、さまざまな願いが寄せられました。短冊に寄せられた学生食堂のメニューに関するリクエストは、今後、学生食堂で提供いただけるよう検討していきます。

願い事をお寄せいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

・2024(令和6)年度

第57期卒業生 卒業生記念品について

2024(令和6)年度第57期卒業生より、卒業生記念品として「姿見鏡」を頂戴しました。文京キャンパス2号館2階女性用トイレ内に設置しています。大切に使用させていただきます。



入学前オリエンテーション実施報告

12月20日(土)、2026年(令和8)年度入学予定者(2025(令和7)年内の合格者)を対象とした入学前オリエンテーションが実施されました。

当日は全体会の後、各学科に分かれて教員や在学生による学生生活についての説明や発表が行われた他、入学予定者同士の交流の場も設けられました。当初は緊張していた参加者も、会の後半には他の参加者と笑顔で会話をしている様子が見られ、各学科とも楽しく和やかな雰囲気の中で終了しました。

あわせて、学生生活や就職活動における本学のサポート体制について説明する「保護者向けプログラム」や、学生寮「メゾン音羽」の見学ツアーも開催いたしました。説明終了後も個別相談ブースに多くの方が立ち寄り、この機会を活用されていました。

今後も入学予定者の方が入学までの時間を有効活用し、有意義な大学生活をスタートできるよう、教職員一丸となってサポートして参ります。



2025（令和7）年度 学内講演会 開催報告

全学共通科目運営センター

●全学共通科目運営センター FD講演会

日時：2025（令和7）年9月4日（木）13:00～14:40
 場所：対面 図書館視聴覚ホール（新座キャンパス）及び Teamsでのハイブリッド
 テーマ：キャリア支援の視点からみた全学共通教育の現状と課題 ―出口戦略としての実学教育―

プログラム：(司会) 石崎裕子准教授

1. 開会の辞 全学共通科目運営センター長 西田晴美教授
2. 趣旨説明 宮津多美子教授
3. キャリア支援教育の現状と課題
 - 1) 「女子大学になにができるか ―コロナ禍前後に高校75校を踏査してみえてきたこと―」 澤田裕美准教授
 - 2) 「キャリアにつながるデータサイエンスの学び」 山澤成康教授
 - 3) 「女性の生涯キャリアとしての公務員」 鍵屋一教授
4. 質疑応答
5. 閉会の辞 安藤生大教授

参加者数：63名（オンライン56名、対面7名）

文学部

●第1回文学部教育・研究支援委員会主催FDワークショップ

日時：2025（令和7）年7月16日（水）15:10～16:40
 場所：対面 図書館視聴覚ホール（新座キャンパス）及び Teamsでのハイブリッド
 テーマ：跡見の文学部の未来を考えるFDワークショップ第2回～新学部の芸術的学びとの差異化と、相互成長を中心に～

プログラム：

1. 「跡見学園女子大学文学部の方向性 ―道具とともに育成していく力のこれまでとこれから―」 山本博一教授
2. 「新ミッションに基づく跡見学園女子大学の教育改革案～感性と知性で、未来をひらく。～」 栗田秀法教授

参加者数：36名

●第2回文学部教育・研究支援委員会主催FDワークショップ

日時：2026（令和8）年2月4日（水）14:30～16:10
 場所：対面 図書館視聴覚ホール（新座キャンパス）及び Teamsでのハイブリッド
 テーマ：跡見の文学部の未来を考えるFDワークショップ第3回～学部横断できる学びを提供する、小規模ならではの跡見の特性を考える～

プログラム：

1. 「新規・文学部プログラムの訴求方法及びその意義について」 山岡華菜子講師
2. 「文学部と心理学部との現代カルチャーにおける融合」 新井雅教授（心理学部 臨床心理学科）
3. 「文学部をハイブリッドに開く、人文学科と社会科学の横断について」 中村仁教授（マネジメント学部 生活環境マネジメント学科）
4. 「文学部中心であった跡見花蹊先生の研究を、他学部にまで開いてみるアプローチ」 小関孝子先生（観光コミュニティ学部 観光デザイン学科）

参加者数：49名

マネジメント学部

●2025年マネジメント学部FD講演会

日時：2025（令和7）年5月14日（水）15:30～16:15
 場所：オンライン開催
 テーマ：「マイステップ・チャレンジ」の実践にむけて
 発表者：安藤生大教授、赤松瑞枝准教授
 対象者：マネジメント学部専任教員
 参加者数：24名

観光コミュニティ学部

●観光コミュニティ学部主催 第1回FDワークショップ

日時：2025（令和7）年7月23日（水）12:30～13:20
 場所：オンライン開催
 テーマ：PROGを活用した学生指導に向けて
 プログラム：
 1. 「事前アンケート結果の共有」 松井理恵准教授
 2. 「PROGに関する説明」 新井順氏（就職課主任）
 3. 質疑応答
 参加者数：14名

●観光コミュニティ学部主催 第2回FDワークショップ

日時：2026（令和8）年3月25日（水）13:20～15:00
 場所：オンライン開催
 テーマ：観光コミュニティ学部の学びと学外活動の新たな展開をめざして
 プログラム：
 1. キャリアデザイン演習の進め方 守屋邦彦准教授
 2. ゼミにおける学外活動の実施状況について 松井理恵准教授
 3. 学外活動をゼミで実施する場合に生じうる課題と対策に関する意見交換

心理学部

●第1回心理学部FDワークショップ

日時：2025（令和7）年9月24日（水）13:20～15:00
 場所：オンライン開催
 テーマ：R7カリキュラムにおける新科目の位置づけとその意義
 プログラム：
 1. 企画趣旨説明 前場康介教授
 2. フリーディスカッション
 参加者数：11名（のち、1名録画視聴）

●第2回心理学部FDワークショップ

日時：2026（令和8）年3月11日（水）13:30～15:00
 場所：オンライン開催
 テーマ：心理学部の「これまで」と「これから」-アセスメントプラン・プロジェクトデータを用いた検討-
 プログラム：
 1. 挨拶・趣旨説明 前場康介教授
 2. 発表「アセスメントプラン・プロジェクトデータからみる心理学部の特徴」 前場康介教授
 3. 総合討論
 4. 閉会のことば 松寄くみ子教授

大学院人文科学研究科

●日本文化研究フォーラム

日時：2025（令和7）年12月13日（土）14:00～15:50
 場所：文京キャンパス1号館 M1201 視聴覚ホール・オンライン開催
 テーマ：近世前期の村・地域を考える ―その手掛かりと手法をめぐって―
 発表者：鈴木直樹氏（一橋大学大学院社会学研究科 講師）
 参加者数：12名

2025 (令和7) 年度「学生生活に関する調査」実施報告

本学では、学生の皆さんの意見を大学運営に反映させるため、学生生活に関する調査を例年実施しています。毎年多くの学生の皆さんのご協力に感謝申し上げます。2025(令和7)年度は1,000人近い学生の皆さんにご回答いただきました。本調査では、学生の満足度の他に、自由記述回答を取り入れることによって、より学生の皆さんのリアルな声を聞くことが可能になっています。これまでの調査結果は、新座キャンパス内のウォーターサーバーの設置や、文京キャンパスへのカフェスペース設置といった取り組みの実現にもつながっています。いただいた貴重なご意見は、より良い大学づくりのために反映させていただきます。調査結果の詳細は大学ホームページ上で公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。今後とも、本調査へのご協力をお願いします。

本調査から
実現した
取り組みの例



<https://www.atomi.ac.jp/univ/about/information/admitted/#content-06>

2025年度 各種研究助成報告

公的研究費 科学研究費助成事業 (独立行政法人日本学術振興会)

	新規採択研究課題	継続研究課題	2025年度直接経費 ^{※1} ※2
研究代表課題	3件	10件	計12,570,000円
研究分担課題	2件	9件	計1,600,000円

※1 2025年度に配分された本学研究者の直接経費 (代表課題の場合、研究分担者への配分額は含まない)

※2 2025年度中の前倒し請求分を含む

学内研究助成

	教員数	助成額
海外・国内留学助成	1名	3,300,000円
特別研究助成	5名	計4,060,000円
学術図書出版助成	1名	1,000,000円
外国出張旅費助成	2名	計600,000円

情報メディアセンターからのお知らせ

◆保証人の方のポータル利用について

2021(令和3)年度秋学期より、学内の情報共有基盤であるポータルシステムを保証人の皆様にも公開しています。確認できる主な内容は成績、時間割表、シラバス、大学からのお知らせなどです。

ログインID・パスワードは、2024(令和6)年度以降の入学者の保証人でメールアドレスをご登録いただいた方に対してはそのメールアドレス宛に、それ以外の方に対しては保証人住所宛に郵送で、それぞれご案内しています。IDは小文字のhの後ろに学籍番号8桁を付加したものです。

お知らせが届いた際にメール通知を受け取ったり、パスワードを忘れた際にご自身でパスワードリセットができるよう、ログイン後の「setting」画面より、メールアドレスの設定をお願いいたします。

メールアドレスが未登録でパスワードがご不明な場合は下記メールアドレスまでお問い合わせください。

問い合わせ先：情報メディアセンター d-multi@mmc.atomi.ac.jp

※2026(令和8)年度入学生の方へは別途ご案内いたします。

◆新座・文京学生貸出用PCの更新について

情報メディアセンターでは、学生用PC貸出ロッカーを新座・文京の両キャンパスに設置^{※1}しており、学生証をカードリーダーにかざすとノートPCを借りることができます。

今年度春季休業期間中に、それらの貸出用PCの更新を予定しています。PCを最新の機器に更新するとともに、OSやソフトウェアのバージョンアップを行う予定です。^{※2}

※1 ロッカー設置場所：新座キャンパス／3号館2階エントランス脇 (3251 教室横)
文京キャンパス／2号館3階M2303 教室前

※2 更新の内容は予告なく変更することがあります。

2026(令和8)年3月28日(土)「桜まつり2026」開催

2026(令和8)年3月28日(土)跡見学園女子大学新座キャンパスにて「桜まつり」を開催します。「桜まつり」は、新座キャンパス構内を一般の方に開放し、多彩な桜が咲き誇る様子をご見学いただくイベントです。昨年はあいにくの雨の中の開催となりましたが、今年度は天気にも恵まれることを願いつつ、皆様には桜並木や様々な企画を楽しんでいただきたいと思います。皆様のご来校を心よりお待ちしております。



【開催日時】2026(令和8)年3月28日(土)
10:30～14:30(※雨天決行)

【開催地】跡見学園女子大学 新座キャンパス
(埼玉県新座市中野1-9-6)

《来場無料》大学関係者に関わらず、一般の方もご来場いただけます。

○JR武蔵野線新座駅、東武東上線みずほ台駅より無料の大学バスをご利用いただけます。

※駐車場はございません。自家用車でのご来校はご遠慮ください。

※その他、「桜まつり」に関する詳細は、本学HPよりご確認ください。

桜鑑賞のための大学構内一般開放について

約180種類の桜が咲き誇る新座キャンパスを一般の方々向けに開放いたします。桜並木の満開時は圧巻です。是非、この機会に美しい桜をご鑑賞ください。詳細は本学HPでお知らせしていますので、ご確認の上、ご来校ください。



アトミザクラ©田中秀明

【実施期間】2026(令和8)年3月28日(土)
～5月15日(金)10:00～15:00

※4月3日(金)、4月7日(月)、4月8日(火)を除く。

【場所】跡見学園女子大学 新座キャンパス
(埼玉県新座市中野1-9-6)

《来場無料》

※構内に駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。

2026(令和8)年度 花蹊記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
2026(令和8)		
3月23日(月)～5月20日(水)	「没後100年 跡見花蹊」	
6月15日(月)～7月24日(金)	「明治の書を学ぶ—古典臨書と教育の場—」	「第18回 跡見OG書道展」
9月28日(月)～12月8日(火)	版画で楽しむ現代アート	
2027(令和9)		
1月19日(火)～1月29日(金)	博物館実習生模擬展示	
3月24日(水)～3月31日(水)	「跡見と茶道—女子教育の先駆け—」(仮)	

※展示期間、展示内容には変更が生じることがあります。

◆ 春の行事予定 ◆

3月	16日(月)	卒業式/修了式
	26日(木)～4月7日(火)	オリエンテーション期間
4月	3日(金)	入学式
	9日(木)	春学期通常授業開始

● 2026(令和8)年度履修申請期間 ●

● Web履修登録申請期間

<1次> 4月6日(月)、7日(火)、8日(水)
<2次> 4月11日(土)、13日(月)

● 履修登録状況(抽選結果)発表

4月10日(金)、15日(水)

● 履修登録訂正期間

4月16日(木)、17日(金)

2026(令和8)年度春学期オリエンテーションおよび学生定期健康診断予定

●学部 新1年生対象【新座キャンパス】

4月2日(木)	一人暮らしのガイダンス・学生寮オリエンテーション(入寮者のみ対象)
3日(金)	入学式・新入生説明会・履修ガイダンス ＜マネジメント学部＞ 学部ガイダンス ＜観光コミュニティ学部＞ 学科ガイダンス・グループミーティング
4日(土)	＜文学部・心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・学科ガイダンス・学科企画(交流会)・グループミーティング 〔人文学科・現代文化表現学科対象〕 資格課程(教職・学芸員)ガイダンス
6日(月)	＜全学部＞ 資格課程(司書)ガイダンス ＜文学部・心理学部＞ 個別面談 ＜マネジメント学部・観光コミュニティ学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス 〔マネジメント学科対象〕 資格課程(学芸員)ガイダンス・グループミーティング・学科企画(交流会)・個別面談 〔観光コミュニティ学部対象〕 資格課程(社会調査士)ガイダンス・学科企画(交流会)・個別面談
8日(水)	健康診断・〔学生会主催〕新入生歓迎会・〔学生会・学生課共催〕交流会

●学部 新2年生対象【新座キャンパス】

4月7日(火)	＜全学部＞ 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
---------	---

●学部 新3年生対象【文京キャンパス】

3月26日(木)	＜マネジメント学部・観光コミュニティ学部＞(編入生含む) 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談 〔観光コミュニティ学部対象〕 資格課程(社会調査士)ガイダンス 〔マネジメント学部編入生対象〕 学科ガイダンス・単位認定のための面接
27日(金)	＜文学部・心理学部＞ 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談 〔文学部編入生対象〕 学科ガイダンス・単位認定のための面接

●学部 新4年生対象【文京キャンパス】

3月26日(木)	＜マネジメント学部・観光コミュニティ学部＞ 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
27日(金)	＜文学部・心理学部＞ 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●大学院生対象

3月26日(木)	＜マネジメント研究科【文京キャンパス】＞ 健康診断
4月 3日(金)	＜両研究科新1年生のみ【新座キャンパス】＞ 入学式・専攻説明会他
6日(月)	＜人文科学研究科2年生のみ【新座キャンパス】＞ 履修ガイダンス・専攻ガイダンス
7日(火)	＜両研究科【新座キャンパス】＞ 健康診断

※各実施時間等の詳細はポータル(Atomi information Portal)よりご確認ください。

Mini OpenCampus 2026(令和8)年3月28日(土)開催のご案内

自然豊かな新座キャンパスで「大学」について考えてみましょう！

現高校1・2年生の皆さんにとって、大学進学の意味を考え、「跡見で学びたい!」と思えるような「大学選び」の参考になる企画を多数用意しました。

〈注目企画!〉

◆大学選びの基礎講座

皆さんは大学進学先をどのような観点から決めますか？

様々な観点がありますが、本企画では「自分が学びたいこと」の視点から大学選びに役立つヒントを提供します。跡見で学べることと、自分が学びたいことをマッチングさせることで充実した大学生活を目指しましょう！



学生プレゼンテーション

◆学生プレゼンテーション～私の大学選び～

4月から新たな世界へ飛び込む4年生が、跡見での学びをご紹介します。「なぜ跡見を選んだのか?」「入学してみてどうだったか?」「跡見だからこそできたこととは?」実際に跡見で4年間学んだからこそ語る跡見の魅力を存分にお話します！



大学選びの基礎講座

〈4月以降のオープンキャンパス〉

日程等決まり次第、大学公式ホームページにおいて随時更新してまいりますので、ご確認ください。

個別相談・学校見学も随時受付中です。

その他、入試に関するお問い合わせは入試課 (TEL:048-478-3338・MAIL:d-nyushi@mmc.atomi.ac.jp) までお願いいたします。

編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございました。今号では、150周年記念や学生の皆さんの取り組みをご紹介しました。本誌が跡見学園女子大学の〈いま〉を体感していただく機会となっていれば嬉しく思います。今後ともご愛読のほど、よろしくお願いたします。

跡見学園女子大学公式SNS紹介

本学公式SNSアカウントでは、ゼミでの取り組みやクラブ・サークル活動などの在学生の様子、各種イベントや入試情報など、本学の取り組みをご紹介しています。在学生や保護者の皆様、また、本学に興味のある受験生の方々向けにも、さまざまな情報を発信しています。



Instagram

跡見学園女子大学
Atomi University (atomiuniv)



YouTube

【公式】跡見学園女子大学
各学部の紹介PV公開中！



X

跡見学園女子大学
(@Atomi_univ)



LINE

跡見学園女子大学
受験生向けの最新情報を発信しています。ご興味のある方は、是非、友だち登録をしてみてください。

跡見学園女子大学学報 第110号

発行日 2026(令和8)年3月2日
発行 跡見学園女子大学事務局庶務課
〒112-8687 東京都文京区大塚1丁目5番2号
電話03(3941)7420
URL <https://www.atomi.ac.jp/univ/>